



低地では普通に見られる。



葉は枝先に集まって付く。



網状脈が見える。

## 区別のポイント

葉は枝先に集まって付く。葉裏の網状脈がはっきり見えるが、ユズリハは網状脈は見え、全体に白い。

葉柄は長く、普通は緑色だが紅色もある。屋久島では、ユズリハよりも低地に多い。

**形態** 常緑高木。高さ 10m。

**分布** 本州・四国・九州の暖地。沖縄などの南西諸島に分布。

**名前の由来** ユズリハより小型。

**葉** 〈全体〉狭楕円形～倒披針形で長さ 4～15 cm。

〈付き方〉互生で枝先に集まって付く。

〈葉柄〉1.5～5 cmで緑色または紅色。

〈基部〉円形から広いくさび形。

〈葉先〉やや尖る。 〈縁〉全縁。

**備考** 有毒。宮之浦林道では、成葉に採食痕あり。ユズリハを芦生では時々食べるという。

**出典** 4